

## サステナビリティ基本方針及び マテリアリティ（優先課題）の特定に関するお知らせ

三菱オートリース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中野 智、以下「三菱オートリース」）は、サステナブルな社会の実現にこれまで以上に貢献できるよう、サステナビリティ基本方針を策定するとともに、事業活動を通じて優先的に取り組むべき課題として、5つのマテリアリティ（優先課題）を特定しましたので、お知らせいたします。

当社は、本マテリアリティを今後、当社の事業戦略や意思決定においての重要な要素として位置付け、全社員一丸となってサステナビリティの取り組みをさらに推進し、新たな価値創出で、よりよい社会づくりをめざします。

### 記

#### ■ サステナビリティ基本方針

当社は、「人とモノの移動」に新たな価値を乗せていく」という経営理念のもと、事業を通じて、優先して解決を図る社会的課題をマテリアリティとして定め、社会の持続的発展に対する貢献と三菱オートリースの中長期的な価値向上の両立を図るように事業を遂行する。

#### ■ マテリアリティ

当社は、人（＝社員）を「価値の源泉」として位置づけ、デジタルの活用やパートナーとの共創を「価値創出の基盤」と捉え、環境的、社会的「価値創出」により持続的に成長していくことで経営理念の実現をめざします。

#### 経営理念

### “人とモノの移動”に新たな価値を乗せていく

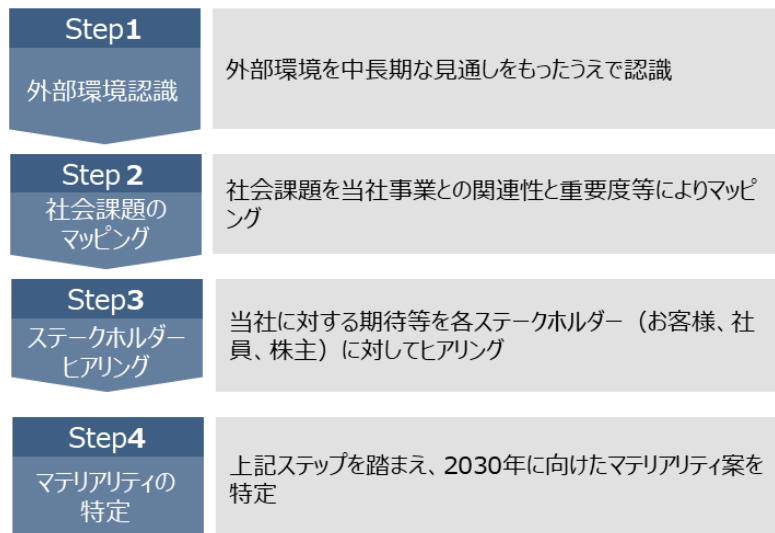


マテリアリティ		マテリアリティの説明	
価値創出	I	地球環境に対する 真摯な取り組み	モビリティのライフサイクル全体を通じ、移動手段における環境負荷の低減により、ステークホルダーに対して新たな価値を創出する。
	II	最適な“移動”の提供による 社会への貢献	モビリティサービス企業として、社会が移動に求めるさまざまなニーズに対して幅広く取り組むことで、ステークホルダーに対して新たな価値を創出する。
価値創出の基盤	III	先端技術・デジタルを 駆使した事業変革	次世代のモビリティサービスがデジタル化を起点に進展するなか、先端技術・デジタルの駆使による発想転換を価値創出の基盤とする。
	IV	パートナーシップによる 価値共創	多様化するニーズや変化が激しい事業環境において、パートナーシップによるスピード感ある共創を価値創出の基盤とする。
価値の源泉	V	多様な人材が 活躍・成長できる 組織の実現	最大の経営資本を“人材”と位置づけ、企業価値の源泉として、多様な価値観を持つ人材が集まり、活躍できる組織を実現する。

## ■ マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティは、社内外のステークホルダーに対して広く納得感と受容度の高いものとすべく、GRI (Global Reporting Initiative)、国連グローバル・コンパクトおよび持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD) が開発した企業のためのSDGsの手引き書「SDG コンパス」のプロセスに準拠し、お客様やお取引様や株主、社員とのディスカッションやアンケート結果を踏まえ策定いたしました。

### マテリアリティ (優先課題) 特定のフロー



## ■ お客様お問い合わせ先

ホームページ：[お問い合わせ先](#)

## ■ 報道機関お問い合わせ先

三菱オートリース株式会社 経営企画部 広報担当：伊賀並<sup>い が なみ</sup>

ホームページ：[お問い合わせ先](#)

E-mail：[keiki@mitsubishi-autolease.com](mailto:keiki@mitsubishi-autolease.com)

以上